

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	戸建住宅設計小委員会	主 査 名：福田展淳 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：岩田 三千子
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>戸建住宅の熱・光・空気・音環境について、環境工学の立場から、その先端研究の調査を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸建住宅の居住環境を議論し設計に活かすための情報発信を行う。 <p>特に近年、高気密・高断熱化、24時間換気、省エネ改修など戸建て住宅の熱環境や空気環境に関する環境工学的側面が実務設計に大きな影響を与えており、その設計指針について、環境工学分野での関連論文をまとめ、情報発信を行う。</p> <p>1 年度：これまでの議論を踏まえ公開勉強会の開催 2 年度：講習会／シンポジウムの開催 出版活動を行う</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：福田展淳 (北九州大学) 幹事：隈裕子 (湘南工科大学) 委員：尾崎明仁 (九州大学) 高偉俊 (北九州市立大学) 中島祐輔 (工学院大学) 李明香 (九州大学) 木村孝博 (きむら設計)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	昨年に引き続き、夏季の床下結露問題を討議した結果を踏まえ、公開勉強会を開催した。達成度 85%。
委員会活動の問題点 ・課題	委員が東京、九州とまたがっており開催に際し旅費がかかり、年 2 回 (九州 1 回、東京 1 回 (予定)) の開催となった。

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>①建築環境工学分野に関わる戸建て住宅の最近の研究動向や設計者や居住者が知っておくべき内容について、委員間で意見交換を行い、学会での発表内容などの公表等の必要性を確認し、その方法を議論した。</p> <p>②この3年間で、戸建住宅に関し、特に床下の夏季結露問題が大きいとの議論が出て、研究者同士でそれぞれの成果を報告した。</p> <p>③床下結露問題の他、各委員が現在取り組んでいる環境工学分野の研究の中から、戸建て住宅の研究を持ち寄り議論した。伝統構法の断熱化(省エネルギー化)、トロンブウォール、戸建て住宅の換気/集中冷暖房システムなどについて議論した。</p> <p>④省エネルギー基準の変更や新たな省エネルギー関連の法制度のあり方の議論し、課題を整理した。特に戸建て住宅の省エネルギー性を1次エネルギーで評価するツールとして、これまで行われてきたシミュレーション研究を活用する必要性を確認し、新しく小委員会を設置することとした。</p> <p>⑤上記の研究や議論を踏まえ、床下結露問題に関し、建築設計者に対する勉強会を実施したが、引き続き情報発信を行う必要があると考えられることから、小委員会は終了するが、シンポジウムなどで情報発信を行うこととした。</p> <p>⑥今後も、各委員が取り組んでいる近年の研究を社会に公知する必要性を議論することとした。</p> <p style="padding-left: 2em;">委員会数は、少ないが、各委員の問題意識を共有することができ、研究者の情報交換の場として有用であった。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。